

今から二年前の2014年に、日本語教育で有名な牧野成一先生から以前からプリンストン日本語教育フォーラムで発表を…と言われていたので、そして、成田、ニューヨーク間が往復で、税込み等すべて入れて7万円だったので行ってみようと思った。

フォーラムの時期にNYCで「JAPAN RUN」というランニングの大会があった。「JAPAN DAY」という日本文化イベントの一連のもので、その大会に申し込もうかな、どうしようかなと躊躇していたら、定員になり締め切ってしまった。がっかりしたが、あきらめずに、よく調べてみたら10日は、母の日なので、NYCで「JAPAN RUN」以外に、他にも二つ大会があった。どちらの大会で走ろうかと迷ったが、「NYC RUNS Mother's Day 5K&10k」のほうを選んだ。5キロと10キロ、どちらにしようかと迷ったが、スタートの遅い10キロの部を選んだ。これが結局は良かった。

日本を出発する前日の2015年5月7日、夜行バスで東京に向かった。そして、翌朝池袋に着き、さっそくファーストフードへ入り、メールをチェック、そして、そこでプリンストンに出す原稿を見直してメールで送付。そのあと、代々木の体育館で一時間ほどランニング。そして、電車で成田空港に向かった。そして、5月8日16時50分に成田経った。今回直行便なのでトランジェットの心配がなくて気が楽であった。飛行機はデルタ航空だった。サービスは、いま一つだと聞いていたが思った以上にサービスは良かった。5月8日16時45分ごろ（現地の日時。以下、アメリカにいるときはNYCの日時）ニューヨークに着いてマンハッタンにどのように行こうかと思ったが地下鉄を使うことにした。マンハッタンにあるジャックスラビットというスポーツ店に行って事前にナンバーカードを取りに行こうか、行かずに宿舎に直行しようか迷ったが、結局は行くことに…。地下鉄はよく分からなかったが何とか行けた。しかし、そこで、事前ナンバーカードの受け渡しが中止になったと言われた。日本の大会なら事前ナンバーカード受け取り中止などありえない。せつかく来たので、店内のものをみた。日本のスポーツ店とあまり変わらなかったが2、3違うところがあった。トレットミルがおいてあったことと、店内に設置してあったパンフレットだ。

ジャックスラビットには6週間の室内サイクルプログラムや自転車、ランニング、ウエイトなどを組み合わせた8週間のコアトレーニング教室の案内などが多く置いてあった。また5月30日のトラックレース（DASHING WHIPPETS TRACK MEET）の案内もあった。このレースは、5000m、4×200mリレー、800m、400m、1マイル、長距離メドレーリレー（1200m、400m、800m、160

0 m) 4 × 4 0 0 mリレーがあり12歳以上がエントリー可能。ただし、18歳以下は親の承諾書が必要)でネットによる事前申し込みは15ドル、当日申し込みは20ドルである。

ジャックスラビットに寄ったあとすぐ宿舎に向かいその日は終わった。次の日いよいよプリンストン日本語教育フォーラムでのポスター発表、朝早く宿舎を出て地下鉄に乗ってペンステーションで降りて高速鉄道に乗りかえた。プリンストンジャンクションという駅で降り、小さな列車に乗ってプリンストンの駅に着いた。プリンストンの駅から少し歩いたところに会場があった。プリンストン大学も、以前発表したハーバード大、ケンブリッジ大と同様、緑が多かった。会場に着いて、会場で大学が用意した朝食をいただき、大学の日本語教育のチーフに共著『研究社 日本語口語表現辞典』と日本ことわざ文化学会刊行の『教育とことわざ』他、計4冊を献本した。そのあとポスター発表の準備をし、昼食。昼食後、私のポスター発表が始まった。私の発表のテーマは「オリンピック日本語会話教材」についてで、オリンピック観戦のための外国人日本語会話教材についての構想の研究発表である。反応はまずまずだったと思う。無事ポスター発表を終え、発表、講演をきき、その後懇親会へ。アメリカの先生といろいろなことを話した。

翌日(9日)NYCでレースなので、懇親会の後すぐにNYCへと向かった。帰る途中ニューアーク・スターション駅をペンステーション駅と間違えて降りてしまい、20分ほどどこにいるのか分からない状態になってしまった。時間も夜の10時過ぎてあせる、あせる。治安があまりよさそうでなかったので余計あせった。ようやく場所が分かって貿易センターまで別の鉄道の路線で行った。

貿易センターで降りたが、乗り換えの地下鉄の駅が分からず右往左往何とかして地下鉄の駅が見つかり宿泊地の近い駅へ向かった。何とかたどり着いたが、時刻は、23時50分を回っていた。

次の日、レースのため朝早く、宿舎を出た。会場はルーズベルト島の広場(近くにでクイーンズボロ橋)であった。地下鉄の交通網がよく分からなかったので、かなり余裕を持たないとたどり着けないと思い、早く出発をした。これが、良かった。

途中までは、会場にどう行けばよいのか分かっていたが、途中から全く分からなくなった。ちょっとパニックになったがマラソン大会に出る人たちを見つけ、その後ろについたがその人たちも迷っていて、レースの45分前にやっと到着した。

300人規模の大会で広場に更衣室のテントの二つ。後はTシャツ、ナンバーカード引き換え所があって、Tシャツとナンバーカードをもらった。そして荷物を置いてスタート地点に向かった。10キロの部がスタート、コースはルーズベルト島を二周するコースだった。昨日の疲れがどっと出て、走るのがやっと。でもなぜが総合順位38位、年齢別5位だった。ゴール後受付の近くでパンとジュースをもらった。パンは食べ放題であった。

しばらくしていると、簡単な表彰式があった。賞状はなく3位までは景品があったが日常的な簡素な景品だった。12時になると大会の会場もかたづけが終わっていた。そして、

私は地下鉄でセントラルパークへ。

セントラルパークで行われる「JAPAN DAY」を見にいった。私が見に行った時はちょうど琴の演奏が行われていた。少しそこ場にいたあと歩いて宿舎に行き、その日は終わった。

そして翌朝、空港に向かい 5月11日11時5分発、成田行きで帰国した。成田空港からLCCで関西空港へ向かい、家に着いたのは、12日深夜であった。

今回、牧野先生のお誘いを受け研究発表した。プリンストンは緑が多く落ち着いた大学だと思った。そして「肉体が変われば文体が変わる」ということばをのべた村上春樹が在籍した大学、そして、その地をうかがうことができよかったと思う。またいつかランナー村上春樹の気分で？プリンストン日本語教育フォーラムで発表とロードレースの大会に出ようと思っている。

以 上

